

那須寛（なす・ひろし）先生



株式会社NTTドコモ
スマートライフビジネス本部 マーケットビジネス推進部
デジタルコンテンツサービス担当部長

1998 年 外資系コンピューター会社よりNTTドコモへ転職

その後、i モードサービス立ち上げ、i モードサービス開発、i モードサービス機能開発業務、i モード系設備計画業務に従事。

2007 年より現職、コンテンツのサービス企画業務を担当。

《講義概要》

i モードサービス立ち上げに携わり、現在はコンテンツサービス企画に関わる株式会社NTTドコモ的那須寛氏が、スマホの未来とエンタテインメントビジネス〜ドコモってこんなこともやっているよ！〜と題して、講義を行った。

講義ではまず、ドコモの歩みとサービサーを狙う事業について話した。1990年代以降、携帯電話の普及と共に、ドコモの携帯電話も進化を続けてきた。ガラパゴス携帯では、開発・設計に携わってきたが、デバイスが高機能化したことで、モバイルでPC並みのコンテンツが提供できるスマートフォンが登場した。ドコモでは、他社との差別化を行う中で、メディア・コンテンツから金融・決済、教育など生活に関わる様々な事業を開発・拡大しており、サービサーとして8領域を提供している。その中でメディア/コンテンツ事業の中で展開されるdマーケットはドコモ直営のコンテンツマーケットであり、ゲーム、雑誌・書籍、音楽、映像などのデジタルコンテンツと旅行やショッピング、宅配等のeコマース/生活サービスを提供している。

続いて、dマーケットの中のデジタルコンテンツを紹介し、市場動向や各コンテンツの戦略、仕事の進め方について詳細を話された。デジタル市場は成長期にあり、マネタイズをどう行うかが今後重要になる。他社や他のコンテンツと連携することで、マルチデバイスに対応し幅広いユーザーの取り込みに努めている。また、ユーザーへのコンテンツ提示だけではなく、ゲーム会社、出版社、レコード会社などに利益を還元できる仕組みを構築することも重要である。

エンタテインメントとは、生活する上で必須のものでは無い。しかし、無くてはならないコンテンツである。現在、ネットワーク、デバイスが進化する中で、可処分時間の奪い合いが生じている。ユーザーを惹きつけるためには、魅力的なコンテンツを適正価格で提示することが必要であり、サービサーとしてエンタテインメントビジネスを支え、コンテンツを楽しんでゆくと述べ講義を終えた。

受講生からは、通話やメールだけではない、ドコモの幅広いサービス展開やエンタテインメントビジネスにおける適正価格でのコンテンツ利用について多くの声が挙げられた。



<学生からの事前質問より>

Q1.

スマホはこの先、必要不可欠ですか。(立命館大学・産業社会学部・4回生)

A. 現時点では、必要不可欠ですと答えざるを得ないんですけども、授業で申し上げたようにガラケーからスマホに変化したのは、デバイスの進化によるものです。単純な話としてはタッチパネルが開発されて、PCがスマホの大きさになってきた事が進化であり、PCでしか送れなかったものが携帯電話でも送れるようになり、携帯電話でこれまでの容量しか送れなかったものがもっと大容量のコンテンツを送れるようになりました。そういった点において、インターネットに繋がる機器としてスマホは必要不可欠でしょうし、これから進化してスマホという形ではなくても、同じようなデバイスは必要不可欠になってくると思います。

Q2.

今、一番性能がいいのはiPhoneなのでしょうか。これからスマホサービスはどのような進化があるのでしょうか。(立命館大学・産業社会学部・2回生)

A. スマホサービスの進化については、授業でお話した通りになります。

一番性能が良いスマホはiPhoneではありません。iPhoneは、性能はたいしたことはありません。ただユーザーインターフェイスや形・デザインが優れている点で、実力はあると思います。しかし、中国や韓国のメーカーが作っている端末のほうが、性能的にはパソコンに近いです。ご自分で好きな端末を選んでいただくのがいいと思います。

Q3.

進化し続けるスマホは、最終どこにたどり着くと思いますか。(立命館大学・産業社会学部・2回生)

A. わかりません。

スマホはある種のツール・道具だと思っていますので、皆さん自身が今後どのような生活を送りたいかによって、変化していくかと思っています。

Q4.

ガラパゴスケータイを持っている人に対して、どのように考えられていますか。また、スマートフォンとiPhoneではサービスが異なる点がありますが、今後どのような戦略が考えられますか。(立命館大学・映像学部・2回生)

A. ガラケーについては使いたい電話を使うことでいいと思います。ただ、ガラケーでは見ることのできないコンテンツもありますので、それを見るために、他のデバイスを用意するのは有りだと思います。そういった使い方でもいいと思いますし、ガラケーは自分たちが作り上げてきた携帯ですので、思い入れもあります。

iPhoneとアンドロイドのサービス内容の違いは、Apple社の製品であるからと考えていただいていいと思います。基本的には全て同じサービスにしてゆきたいと考えていますが、iPhoneのレギュレーションに従わなければ

ばサービスが提供できないというプラットフォームを選んでしまった時点で、差分が出てくることは受け入れざるを得ないのです。

iPhone を選ぶポイントにもなっているとは思いますが、こういった差分があるという事を考えていただいた上で、自分に合うものを選んでいただけたらいいと思います。